



# キヤノン ハンディターミナル PRea ST-150

## 使用説明書

Ver. 2

このたびは、キヤノン ハンディターミナル プレア ST-150をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

### お客様へのお願い

この使用説明書（以下、本書）には、製品の特長を十分にご理解いただき、正しくお取り扱いいただくための、基本的な説明が記載されています。製品をご使用になる前に、必ずお読みください。また、本書はいつでも使用できるように、大切に保管してください。

- (1) 本製品を用いたシステムの運用結果につきましては、責任を負いかねます。
- (2) 本書の内容の一部または全部の無断転載は禁止されています。
- (3) 本書を作成するにあたっては万全を期しておりますが、お気付きの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本書の内容は、ソフトウェアの改訂などの理由により、予告なく変更されることがあります。

キヤノン電子株式会社

### お問い合わせ先

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 エッジソリューション企画部

ハンディターミナル PRea ST-150 : [canon.jp/st-150](http://canon.jp/st-150)

## 商標および登録商標

- Microsoft、Windows、Microsoft Windows Embedded Compact 7 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Bluetooth、および Bluetooth ロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、キヤノン電子株式会社はライセンスに基づいて使用しています。
- その他、本書に記載しているブランドおよび製品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中には ™、®マークは明記していません。

## 本製品を国外へ持ち出すときは

本製品には、無線通信モジュールが内蔵されています。

日本国以外では、その国や地域の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国や地域では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本書では、説明文の簡略化のために次のように表現しています。

製品	以下の 4 製品を指す場合に使用します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ハンディターミナル ST-150</li><li>● リチウムイオンバッテリーパック BA-50</li><li>● USB 通信クレードル CR-16U</li><li>● 集合充電クレードル MC-16</li></ul>
HT	「ハンディターミナル ST-150」を指す場合に使用します。
バッテリーパック	「リチウムイオンバッテリーパック BA-50」を指す場合に使用します。
クレードル	「USB 通信クレードル CR-16U」および「集合充電クレードル MC-16」の 2 製品両方を指す場合に使用します。
USB 通信クレードル	「USB 通信クレードル CR-16U」のみを指す場合に使用します。
集合充電クレードル	「集合充電クレードル MC-16」のみを指す場合に使用します。
コード	スキャナーが読み取るバーコードや二次元コードを指す場合に使用します。電力を供給するためのコードを指す場合には「電源コード」と表記しています。

はじめに .....	1
<b>1. 安全にお使いいただくために .....</b>	<b>2</b>
日常の取り扱いについて .....	2
リチウムイオンバッテリーパックについて .....	4
無線通信機能について .....	5
USB 通信クレードルおよび集合充電クレードルについて .....	6
良い状態で長い期間ご使用いただくために .....	7
保守および点検について .....	7
耐環境性能について .....	8
電波障害自主規制について .....	8
認証と準拠について .....	8
液晶画面について .....	9
バッテリーパックはキヤノン純正品をおすすめします .....	9
廃棄について .....	9
ご不明な点や修理に関するご相談 .....	9
<b>2. HT の各部の名称と機能 .....</b>	<b>10</b>
HT の構成品について .....	10
各部の名称と機能 .....	11
<b>3. ご使用の前に .....</b>	<b>13</b>
バッテリーパックの充電 .....	13
バッテリーパックの取り付け .....	15
1. バッテリーカバーを開く .....	15
2. コネクタを接続する .....	15
3. ケーブルを配置する .....	16
4. バッテリーカバーを取り付ける .....	17
バッテリーパックの取り外し .....	18
1. バッテリーカバーを開く .....	18
2. バッテリーパックを取り外す .....	18
3. バッテリーカバーを取り付ける .....	19
電源のオン/オフ（サスペンド）について .....	20
電源オン .....	20
電源オフ（サスペンド） .....	20
シャットダウン .....	21
再起動 .....	22
HT の初期設定 .....	23
日付と時刻を設定する .....	23
バッテリーパックについて .....	27
残り容量の確認方法 .....	27
バッテリーパックの交換時期について .....	28
バッテリーパックの特性について .....	28
リチウムイオンバッテリーパックのリサイクルについて .....	28
<b>4. スキャナーを使用する .....</b>	<b>29</b>
コードの読み取り（スキャン）操作 .....	29
レーザースキャナーのご使用上の注意 .....	29
<b>5. USB 通信クレードル CR-16U を使用する .....</b>	<b>30</b>
USB 通信クレードルの構成品について .....	30
各部の名称と機能 .....	31
USB 通信クレードルの設置方法 .....	32

USB 通信クレードルに AC アダプターを接続する.....	32
HT の充電.....	33
HT を充電する.....	33
USB 通信の使用.....	35
USB ケーブルで PC と接続する.....	35
USB メモリーを接続する.....	35
<b>6. 集合充電クレードル MC-16 を使用する.....</b>	<b>36</b>
集合充電クレードルの構成について.....	36
各部の名称と機能.....	37
集合充電クレードルの設置方法.....	38
集合充電クレードルに AC アダプターを接続する.....	38
HT の充電.....	39
HT を充電する.....	39
<b>7. 無線通信機能を使用する.....</b>	<b>41</b>
無線 LAN 通信.....	41
Bluetooth 通信.....	41
<b>8. こんなときには.....</b>	<b>42</b>
<b>9. 製品仕様.....</b>	<b>44</b>
基本仕様.....	44
インターフェース.....	45
使用環境.....	45
<b>10. 消耗品/オプション一覧.....</b>	<b>46</b>
消耗品.....	46
オプション品.....	47
充電・通信関連品.....	47

## はじめに

このたびは、キヤノン ハンディターミナル プレア ST-150をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。プレア ST-150は、汎用OSであるWindows Embedded Compact 7を搭載した業務用モバイル端末です。汎用OSによるプログラム開発の効率向上とともに、多様化するアプリケーションへ柔軟に対応いたします。また、無線通信モジュールを内蔵しコンピューターなどの機器とワイヤレスでデータの送受信が可能です。

### [特徴]

- 1.5m 落下に耐える耐衝撃性。
- OS に、Windows Embedded Compact 7 を採用。
- 画面サイズ 2.4 型の QVGA 透過型カラーTFT 液晶を搭載。
- 暗いところでも使用可能な液晶部バックライトを装備。
- Bluetooth を内蔵。Bluetooth 標準規格に対応したコンピューターなどの機器とワイヤレスでデータの送受信が可能。
- 無線 LAN の搭載により、高速のワイヤレス通信が可能。
- スキャナー搭載により、JAN 等の対応コード読み取りが可能。
- IP54 準拠<sup>※1</sup>

※1：IEC 規格 529 に基づいて規定された固形物や水に対する異物侵入保護等級表示のことです。

塵埃に対する保護レベル：5（機器の動作を阻害する塵埃の侵入はない）と水に対する保護レベル：4（いかなる方向からの水の飛沫を受けても有害な影響がないもの）を持ち合わせています。

## 1. 安全にお使いいただくために

電気製品は、正しく取り扱わないと思わぬ事故や火災、感電の原因になります。製品は万全を期して設計されていますが、次の警告事項および注意事項は、必ずお守りください。また、本書に記載されていない操作は行なわないでください。

本書では、誤った使い方をしたときに生じる危険および損害の程度を、次のように区分しています。



### 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



### 注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

### 注意

取り扱いを誤った場合に、物的損害が発生するおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

## 日常の取り扱いについて



### 警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。
- 製品をアルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに置かないでください。
- 製品の近くで可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 製品を湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
- 製品の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）などの液体や、金属片（クリップやステープラーの針など）、シャープペンシルの芯などの異物が入らないようにしてください。
- 製品の上に、液体の入った容器（コップ、花瓶、植木鉢など）やネックレスなどの金属物を置かないでください。

火災や感電の原因になります。

万一、HT の内部に液体や異物が入ってしまった場合は、ただちに HT の電源をシャットダウンし、バッテリーパックを HT から取り出してください。また、クレードルの内部に液体や異物が入ってしまった場合は、ただちにクレードルの使用を中断し、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

## 警告

- 製品から異常な音・煙・発熱・異臭が発生したり、電源を入れても HT が動かなかったりといった異常が発生した場合は、ただちに製品の使用を中断し HT の電源をシャットダウンし、バッテリーパックを HT から取り出してください。
- クレードルから異常な音・煙・発熱・異臭が発生した場合は、ただちにクレードルの使用を中断し、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
- 製品を落としたり、硬いものにぶついたりといった強い衝撃を与えないでください。  
万一、HT が破損した場合は、ただちに電源をシャットダウンし、バッテリーパックを HT から取り出してください。また、クレードルが破損した場合は、ただちにクレードルの使用を中断し、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
- HT の液晶画面が破損し、内部の液体（液晶）が漏れてきてしまった場合は、絶対に素手で触ったり口や目に入らないようにしてください。  
誤って液体（液晶）が口や目に入ってしまった場合は、ただちに石鹸で洗い流し医師に相談してください。また液体（液晶）が手や衣服などについてしまった場合は、ただちに石鹸で洗い流してください。
- 製品は微弱な磁気を出しています。心臓ペースメーカーをご利用の方は、異常を感じたらただちに製品の使用を中止し、医師に相談してください。
- スキャナーから照射されるレーザー光を人体や目に向けて照射しないでください。レーザー光は人体や目に有害となる恐れがあります。

## 注意

- 製品を不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いたところなど）や、振動の多い場所には置かないでください。
- 製品の上に重いものを載せないでください。  
製品や載せたものが落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

## 注意

- USB 通信クレードルの USB コネクター（TypeA および TypeB）に USB プラグを差し込むときは、上下が逆になっていないことを確認し、正しい方向でまっすぐ抜き差ししてください。
- 液晶画面の上に砂やゴミなどを落とさないでください。
- 液晶画面は爪先や先の尖ったもので押さないでください。  
故障の原因になることがあります。
- 液晶画面の外枠周辺は、強い力を加えないようにしてください。
- HT を長時間お使いになるときは、健康のために 1 時間ごとに 10～15 分の休憩を取り、目や手を休めてください。

## リチウムイオンバッテリーパックについて



- バッテリーパックに水をかけないでください。
- バッテリーパックの接続コネクタを金属などでショート（短絡）させないでください。
- 指定のバッテリーパック以外は、HTに取り付けたり使用したりしないでください。
- バッテリーパックをHT以外に使用しないでください。
- バッテリーパックを取り付けたHTをクレードル以外で充電しないでください。
- バッテリーパックをHTに取り付けるときは、バッテリー側のバッテリーコネクタとHT側のバッテリーコネクタの上下の向きが逆になっていないことを確認し、正しい方向でまっすぐ差し込んでください。

バッテリーパックの破裂や液漏れにより、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。

万一、バッテリーパックから漏れた液（電解液）が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水でよく洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。また、電解液が手や衣服などについてしまった場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

- バッテリーパックを火の中に投げ入れないでください。  
爆発して、火災ややけどの原因になります。
- 充電・使用しているバッテリーパックから異臭・変色、大きく変形するなど異常が発生した場合は、すぐに充電および使用を中止してください。
- 保管しているバッテリーパックから異臭・変色、大きく変形するなど異常が発生した場合は、そのバッテリーパックを使用しないでください。
- バッテリーパックをHTから取り外す際は、HTの電源がシャットダウン状態になっていることを確認してから取り外してください。液晶画面が消えていて、LEDインジケータが5秒以上点灯しなければシャットダウン状態になっています。

### 注意

- HTの主電源であるバッテリーパックは消耗品であり、使用するにつれてフル充電の状態で使用できる時間が短くなります。この現象はバッテリーパックの特性によるもので、異常や故障ではありません。



## 無線通信機能について



### 警告

HTには無線通信機能を持ったモジュールが内蔵されています。この無線通信機能で使用する電波により医療機器や各機器に影響を及ぼし、重大な事故の原因となるおそれがあります。心臓ペースメーカーをお使いの方や以下の場所では、この無線通信機能を使用しないでください。

- 心臓ペースメーカーをお使いの方は、無線通信機能を使用しないでください。  
無線通信に使用する電波が心臓ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 心臓ペースメーカー等の医療機器を使用されている人の近くでは、無線通信機能を使用しないでください。
- 病院などの医療機関内や医療用電気機器の近くでは、無線通信機能を使用しないでください。  
無線通信に使用する電波が、心臓ペースメーカーなどの動作に影響を与えるおそれがあります。ご利用に関しては各医療機関へお問い合わせください。
- 航空機内で無線通信機能を使用しないでください。  
無線通信に使用する電波が航空機内の精密機器へ影響を及ぼし、誤動作による重大事故の原因になるおそれがあります。
- 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くでは無線通信機能を使用しないでください。  
無線通信に使用する電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になるおそれがあります。



### 注意

#### ■ 電波に関するご注意

HTで使用する周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器や、ほかの同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「ほかの無線局」）が運用されています。下記の点に注意してご使用ください。

1. HTを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、HTと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにHTの使用場所を変えるか、またはHTの運用を停止（電波の発射を停止）してください。停止後、販売店または担当営業までご連絡をいただき、混信回避のための処置等（例：パーティションの設置等）についてご相談ください。
3. その他、HTから「ほかの無線局」に対して電波干渉の事例が発生した場合など、お困りの事態が発生したときには、お買い上げの販売店または担当営業までご確認ください。

## USB 通信クレードルおよび集合充電クレードルについて

### 警告

- クレードルを AC100V 以外の電源電圧で使用しないでください。
  - 電源コードを束ねたり、結んだ状態で使用したりしないでください。
  - 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。
  - 電源コードに重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。
  - クレードルに付属している電源コードや AC アダプター以外は使用しないでください。
  - クレードルに付属している電源コードや AC アダプターは他の製品に使用しないでください。
  - タコ足配線をしないでください。  
火災や感電の原因になります。
- 
- 電源コードのプラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。  
電源コードのプラグの刃に金属などの異物が触れると、火災や感電の原因になります。
- 
- 電源コードのプラグは定期的に点検を行ない、乾いた布等でほこりを取り除いてください。  
電源コードのプラグ部分にほこりがたまり、さらに湿気が加わると、火災の原因になります。
- 
- 電源コードのプラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。  
電源コード部分を持って引っ張ると、芯線の露出や断線など電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- 
- 製品を分解したり改造したりしないでください。  
内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。
- 
- 製品を屋外で使用しないでください。  
漏電や感電の原因になることがあります。
- 
- 濡れた手で電源コードのプラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因になります。
- 

### 注意

- いつでも電気コードのプラグを抜くことができるように、コンセントのまわりには物を置かないでください。  
非常時に電源コードのプラグを抜くことができなくなります。
- 製品を使用しないときは、安全のために電源コードを製品とコンセントから抜いておいてください。
- 延長電源コードを使用する場合は、延長電源コードのアンペア数値に注意してください。
- バッテリーパックは、0℃～40℃の温度範囲内で充電することができます。バッテリーパックの性能を最大限に発揮させるために、10℃～30℃の温度範囲内で充電する事をおすすめします。

## 良い状態で長い期間ご使用いただくために

製品は精密な電子部品で構成されています。より良い状態で長い期間ご使用いただくため、次の事項をお守りください。

- 直射日光が当たる場所で長時間使用しないでください。  
また、直射日光が当たる車内など、高温になる場所で使用したり保管したりしないでください。
- 急激な温度変化がある場所で使用しないでください。  
特に寒冷地など、室温と外気の温度差が大きい場所を移動したり、冷え切った部屋を急激に暖めたりした場合などは、製品内部に結露（水滴）が生じることがあります。このようなときは、水滴が自然に蒸発するまで、製品の使用を控えてください。
- 使用時の温度範囲は $-10^{\circ}\text{C}$ ~ $50^{\circ}\text{C}$ を、湿度範囲は5%RH~90%RHを目安にしてください。  
ただし、結露している場合は、水滴が自然に蒸発するまで、製品の使用を控えてください。
- 保管時の温度範囲は $-20^{\circ}\text{C}$ ~ $60^{\circ}\text{C}$ を、湿度範囲は5%RH~90%RHを目安にしてください。  
ただし、結露している場合を除きます。また、長い期間にわたって保管する場合は、 $20^{\circ}\text{C}$ ~ $35^{\circ}\text{C}$ の温度範囲内で保管してください。
- 製品を水に濡れたまま放置しないでください。  
製品が水に濡れた場合は、乾燥したやわらかい布で水分を拭き取ってください。製品を濡れたまま放置すると誤動作や故障の原因となることがあります。
- 製品に磁石を近づけたり、テレビやラジオなど強い磁界を発生するものの近くで使用したりしないでください。製品の動作に悪影響を与えることがあります。
- 製品の上に物を載せないでください。  
また、液晶画面に肘をついたり、固いものでたたいたりなど、無理な圧力を加えないでください。
- 製品を落としたり、硬いものにぶついたりといった強い衝撃を与えないでください。  
また、鞆などに入れて持ち運ぶときは、硬いものと一緒に入れないでください。液晶画面の故障の原因となります。
- 長い期間使用しないときは、HTの電源をシャットダウンしてください。また、日付・時間の情報を保持するため、充電されたバッテリーパックをHTに取り付けた状態で保管してください。  
ただし、バッテリーパックを充電せずに長い期間取り付けたままにしておくと過放電状態となり、バッテリーパックの寿命短縮の原因となります。定期的にバッテリーパックの残容量を確認し（p.27）、少なくなっている場合は充電してください。

## 保守および点検について

- HTを清掃するときは、HTの電源をシャットダウンしてください。火災や感電の原因となります。
- 液晶画面を清掃するときは、レンズクリーナー等のやわらかい布で液晶画面の表面に圧力を加えないように軽く拭いてください。なお、シンナーやアルコールなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。液晶画面が変形、変色、溶解するおそれがあり、故障の原因となります。

## 耐環境性能について

製品の耐環境性能はお客様への販売時点におけるものであり、製品の使用・保管の環境や本機への衝撃・摩擦・経年劣化などにより低下しますので、ご了承ください。また、製品の耐環境性能は当社試験方法による試験値であり、無破損・無故障を保証するものではありません。製品の耐環境性能を保持するために、次の注意事項をお守りください。

- HT を使用する前に、バッテリーカバー（以下、カバー）が確実に閉まっていることを確認してください。カバーが確実に閉まっていないと製品内部に水が入り故障する原因となります。
- カバー裏側のパッキンやその接触面に傷をつけたり、髪の毛や砂などの異物を付着させたりしないでください。パッキンが傷ついたり異物が付いたりしていると防水性能を保持できなくなります。また、パッキンをご使用につれて経年劣化しますので、定期的な交換をおすすめします。パッキンの交換はお買い上げの販売店または担当営業にお問い合わせください。
- 製品が濡れているときや水辺など水が飛びやすい場所では、カバーを開け閉めしないでください。また、濡れた手でバッテリーパックの交換を行なわないでください。
- 製品を水に濡れたまま放置しないでください。製品が水に濡れた場合は、乾燥したやわらかい布で水分を拭き取ってください。製品を濡れたまま放置すると誤動作や故障の原因となることがあります。
- 製品を落としたり、硬いものにぶついたりといった強い衝撃を与えないでください。防水性能を保持できなくなります。
- 使用上の不注意により製品内部に水が浸入した場合、保証の対象となりませんのでご注意ください。

## 電波障害自主規制について

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

この装置では、VCCI 協会の運用規程に基づく技術基準に適合したマークを、液晶画面に電子的に表示できるようになっています。表示の操作方法は、次の「認証と準拠について」(p.8)に記載しています。

## 認証と準拠について

本製品に固有の認証および準拠マークに関する情報は、以下の操作で確認することができます。

1. 画面の左下にある[スタートボタン]を選択してください。  
[設定]画面が表示されます。
2. [設定]画面の[コントロールパネル]を選択し、[システム]を選択し、[プロパティ]の画面を開いてください。
3. [プロパティ]画面の[認証]タブを開いてください。  
認証および準拠マークに関する情報が記載された画面が表示されます。



スタートボタン

## 液晶画面について

HTの液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が見れたり、赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。また、表示条件や見る角度によって明るさのむらが見えたり、液晶画面の消灯時に黒いすじ状の残像が出たりすることがありますが、いずれも液晶の構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。

## バッテリーパックはキヤノン純正品をおすすめします

HTは、キヤノン純正の専用バッテリーパックと組み合わせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正バッテリーパックのご使用をおすすめします。なお、純正品以外のバッテリーパック（リフレッシュバッテリーや純正品のセルを交換したバッテリーパックを含みます）の不具合（たとえばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

## 廃棄について

- 製品を廃棄する場合は、お買い上げの販売店または担当営業にお問い合わせの上、必ず製品内のデータおよびアプリケーションを消去してください。データおよびアプリケーションが消去されず残っていた場合に生じ得る罰則を含む一切の損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 製品を廃棄する場合は、必ず法律や地域の条例に従って廃棄してください。ご不明な点はお買い上げの販売店または担当営業へお問い合わせください。
- HT で使用しているバッテリーパックは、貴重な資源を使用しており、この貴重な資源はリサイクルしたり再利用したりすることができます。不要となったバッテリーパックのリサイクルについては、「リチウムイオンバッテリーパックのリサイクルについて」(p.28)をご確認ください。

## ご不明な点や修理に関するご相談

- 製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）および消耗品の最低保有期間は下記の通りです。

ハンディターミナル ST-150 リチウムイオンバッテリーパック BA-50 USB 通信クレードル CR-16U 集合充電クレードル MC-16	製造終了後 5 年
--	-----------

- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または担当営業にお問い合わせください。なお、製品の修理を依頼される場合は、必ず製品内のデータおよびアプリケーションを消去してください。データおよびアプリケーションが消去されずに残っていた場合に生じ得る罰則を含む一切の損害につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

## 2. HT の各部の名称と機能

HTをご使用の前に、構成品と各部の名称と機能を確認してください。

### HT の構成品について

HTをご使用になる前に、次の機器・付属品が入っていることを確認してください。

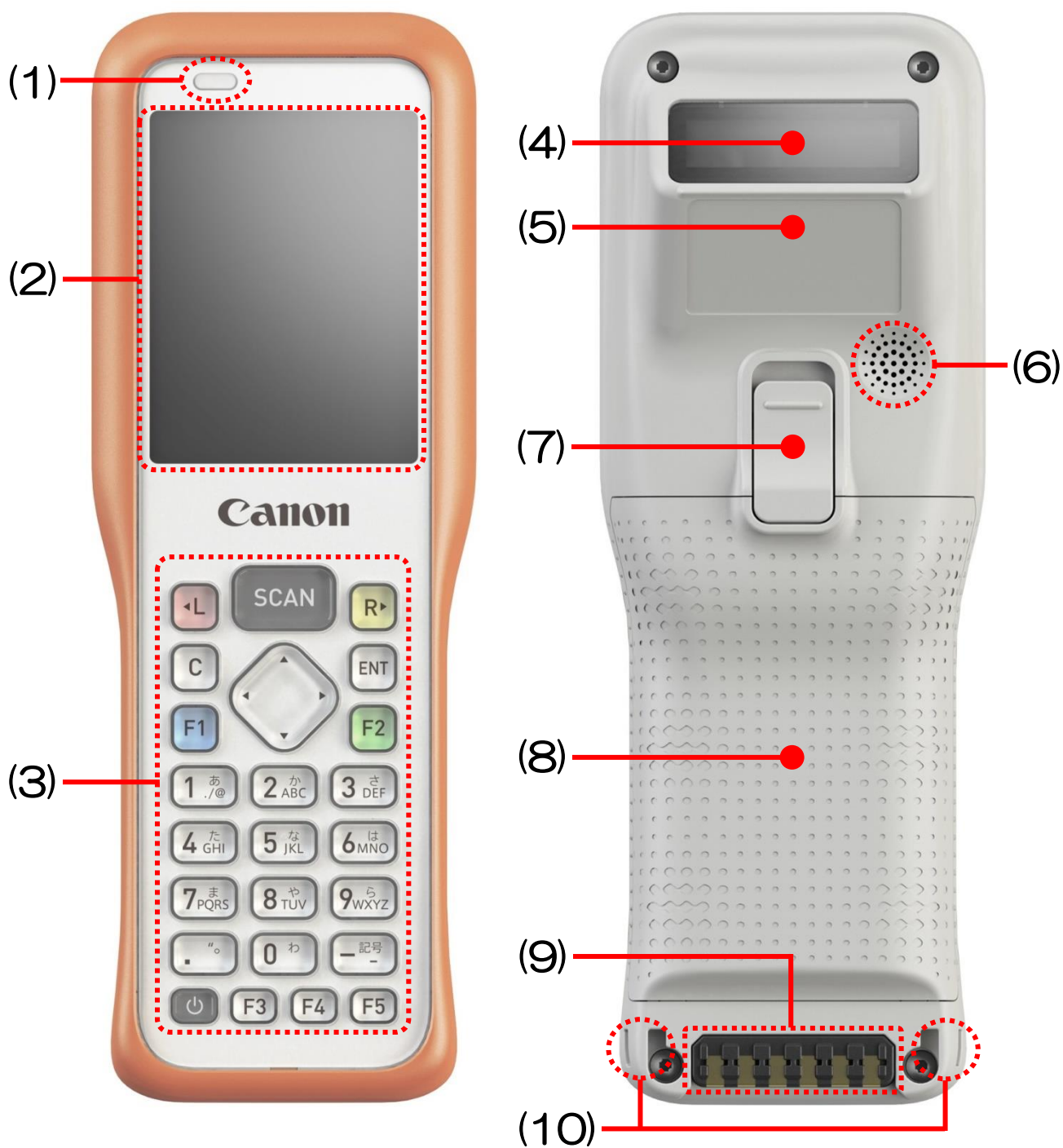
①. ハンディターミナル ST-150	1 台
②. バッテリーパック BA-50	1 個
③. ユーザーズガイド	1 枚


### メモ

- バッテリーパックのお買い求めの際は、必ず同じ品番のバッテリーパック（BA-50）を指定してください。
- バッテリーパックの充電には、別売りのクレードル（USB 通信クレードル CR-16U または、集合充電クレードル MC-16）をお買い求めください。

## 各部の名称と機能

HT の各部の名称と機能は、次の通りです。



	名称	機能
1	LED インジケータ	電源のオン・オフ時やクレードルでの充電時などに LED が点灯します。
2	液晶画面	入力した文字／数値などが表示されます。
3	キー入力部	数値の入力やファンクションの使用、プログラムの実行に使用します。 【SCAN】キー、【L】キー、【C】キー、【R】キー、 【ENT】キー、十字キー、テンキー（0～9）、【.】キー、 【-】キー、ファンクションキー、電源キー
4	コード読み取り部	対応のコードを読み取ります。
5	レーザー注意ラベル	本 HT は、クラス2レーザー製品です。 照射されるレーザー光（ビーム）をのぞき込まないでください。 
6	スピーカー	操作時などに音声を発することが出来ます。
7	バッテリーカバーロック	バッテリーカバーをロックします。
8	バッテリーカバー	バッテリーパックを内部に収納するスペースをカバーします。
9	電気接点 (充電・通信端子)	クレードルに設置したときに、バッテリーパックの充電やデータの通信に使用します。
10	ストラップホール	ストラップを取り付けることが出来ます。



### 3. ご使用の前に

この章では、HTをはじめてお使いになるための一連の操作について説明します。

#### バッテリーパックの充電

ハンディターミナル プレア ST-150（以下、HT）は、バッテリーパック BA-50（以下、バッテリーパック）を主電源として使用します。はじめてお使いになるときは、バッテリーパックはフル充電されておらず、また自然放電などで充電量が少なくなっている場合があります、電源がオンに切り替えられない場合がありますので、以下の充電方法でバッテリーパックを充電してください。

##### ■ USB 通信クレードル CR-16U で充電

⇒ 33 ページの「HT の充電」を参照してください。

##### ■ 集合充電クレードル MC-16 で充電

⇒ 39 ページの「HT の充電」を参照してください。

バッテリーパックの使用を誤ると発煙・発火・破裂のおそれがあります。以下の事項を必ずお守りください。



#### 警告

- ・火の中に投入しないでください。
- ・高温（60℃以上）の場所に放置しないでください。
- ・分解をしないでください。
- ・プラスとマイナスの端子をショート（短絡）させないでください。
- ・充電には専用の充電機器を使用してください。

#### ※重要

- 充電は不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いたところなど）や、振動の多い場所では行なわないでください。
- バッテリーパックの性能を最大限に発揮させるためには、10℃～30℃の温度範囲内で充電する事をおすすめします。本書に記載の充電時間は目安であり、充電時間は周囲の温度やバッテリーパックの状態により多少変動します。
- バッテリーパックをはじめてお使いになるときは、十分に充電しても使用できる時間が短くなってしまふことがあります。これは、バッテリーパックの特性のためで、異常や故障ではありません。数回充電を繰り返しているうちに、所定の時間使用できるようになります。
- バッテリーパックを落としたり、硬いものにぶついたりといった強い衝撃を与えないでください。
- バッテリーパックの電池電圧がある一定の値以下に下がると、電源が自動的にシャットダウンの状態に切り換わる場合があります。この場合、充電してもすぐにはHTの電源がオンにならないことがあります。
- バッテリーパックが充電中に多少熱をおびたり、若干ふくらんだりする場合がありますが、これはバッテリーパックの特性によるもので、異常や故障ではありません。
- HT を長い期間使用しないときでも、充電されたバッテリーパックを HT に取り付けておいてくだ

さい。

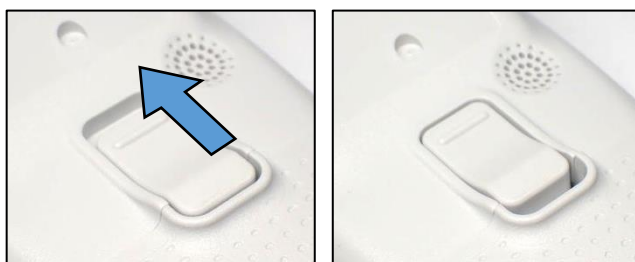
- バッテリーパックをHT から取り外す前に、必ずHT に電源がシャットダウン状態になっていることを確認してください。液晶画面が消えていて、HT のLED インジケーターが5 秒以上点灯しなければシャットダウン状態になっています。
- このHT では、サスペンド状態の保持や日付・時刻の保持のための電気はこのバッテリーパックから供給されており、バックアップのための電池は搭載していません。
- バッテリーパックの取り付けや取り外しのときに、HT やクレードルの電気接点（充電・通信端子）に触れないでください。指紋などが付着すると、接触不良の原因になることがあります。
- HT には指定のバッテリーパック（BA-50）以外のバッテリーパックを取り付けしないでください。
- バッテリーカバーの内側周辺には、防水性能を保持するために黒色のゴム製パッキンが取り付けられています。  
バッテリーカバーをHT から取り外したり取り付けたりする際には、パッキンがこすれたり傷ついたりしないようにしてください。  
また、パッキンに砂や異物が付いたまま使用すると、防水性能を損なうことがありますのでご注意ください。  
砂や異物等は、市販のエチルアルコールで湿らせた綿棒などで取り除いてください。  
パッキンが切れたり傷ついたり変形した場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- バッテリーカバーが取り付けられていない状態では、HT の電源をオンにしないでください。

## メモ

- フル充電になる前のバッテリーパックであっても、必要なときに使用することができます。
- 長い期間HT に取り付けられたまま使用されない状態が続いたバッテリーパックは、すぐには充電が始まらない場合があります。
- バッテリーパックの電池残容量は「残り容量の確認方法」（p.27）を参照してください。
- バッテリーパックの取り扱いについては「バッテリーパックについて」（p.27）を参照してください。
- バッテリーパックの交換時期については「バッテリーパックの交換時期について」（p.28）を参照してください。

## バッテリーパックの取り付け

### 1. バッテリーカバーを開く

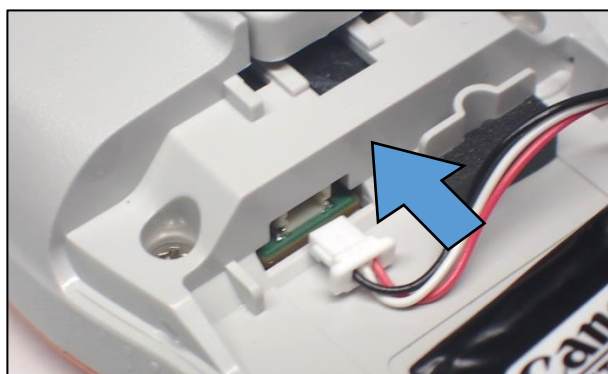


- バッテリーカバーロックを、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にスライドしてください。

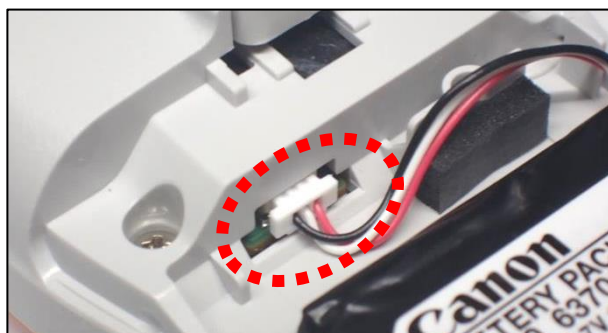


- バッテリーカバーを開いてください。

### 2. コネクタを接続する

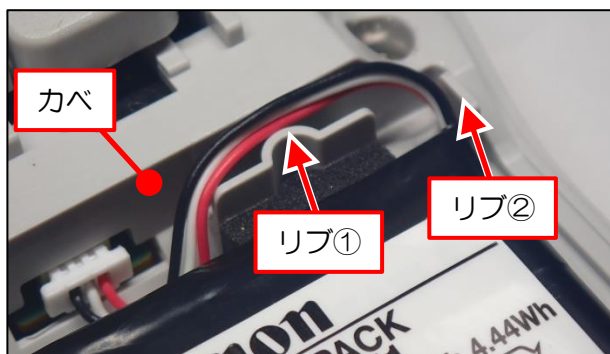


- バッテリーパックのコネクタをHTのコネクタに挿し込んでください。このときに、左図のように3本のケーブルが左から黒・白・赤の順番に並ぶようになるように、コネクタの向きに注意してください。
- バッテリーパックは、必ず「Canon」の文字が入ったシール（銘板）の上にしてセットしてください。



- コネクタは奥までしっかりと挿し込んでください。
- コネクタやケーブルを引っ張ったりねじったりして余計な力を加えないでください。

### 3. ケーブルを配置する

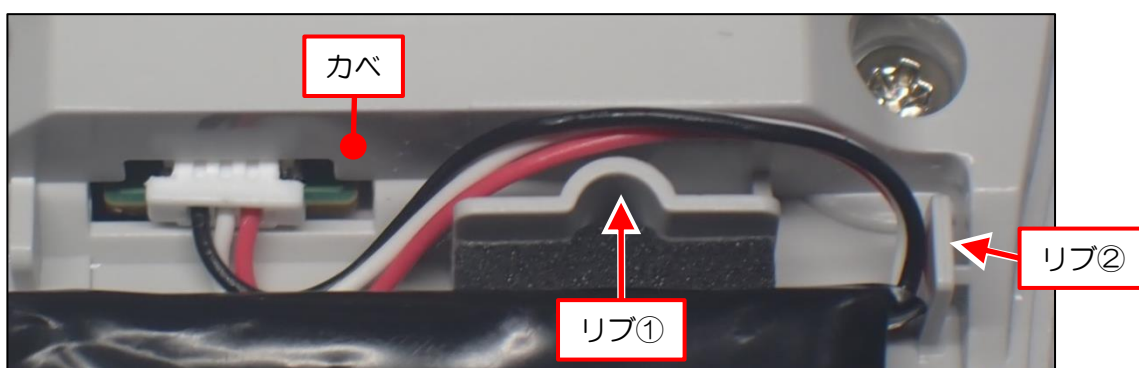


- 左と下の図のように、以下の手順でバッテリーパックの3本のケーブルを配置してください。

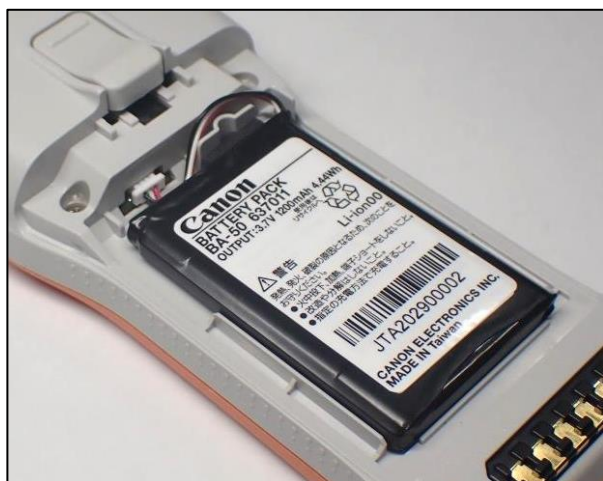
(1) リブ①と「カベ」の間にケーブルを通してください。

(2) リブ②の内側にケーブルを通してください。

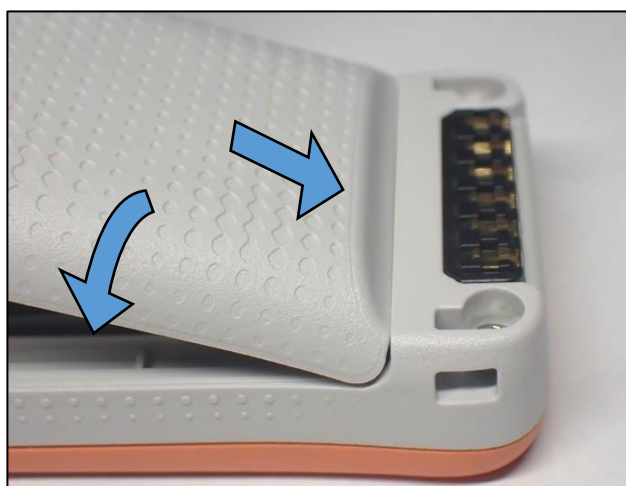
(3) 通したケーブルを、リブ①、リブ②およびカベの高さよりも下に押し込むようにしてください。



- バッテリーカバーを閉じる際に、ケーブルがはさまれないように配置してください。

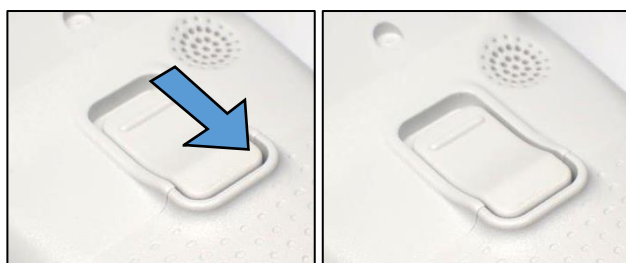


#### 4. バッテリーカバーを取り付ける



- 左図のようにバッテリーカバーをHTに取り付けてください。

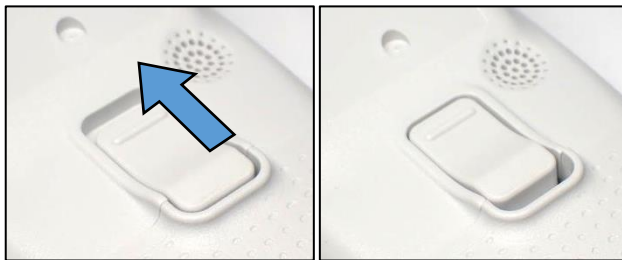
- ① バッテリーカバーの突起部をHTのくぼみに差し込むように取り付けてください。
- ② バッテリーカバーの反対側をバッテリーカバーロックの方に倒してください。



- バッテリーカバーをおさえながら、バッテリーカバーロックを、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にスライドしてください。

## バッテリーパックの取り外し

### 1. バッテリーカバーを開く

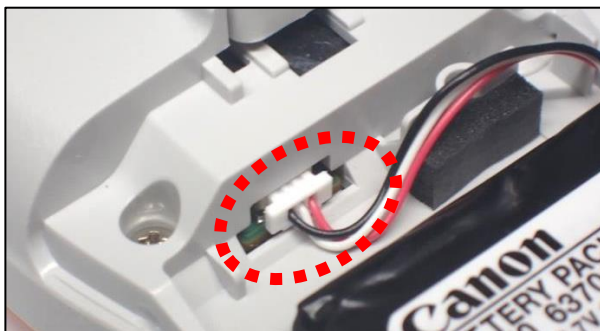


- バッテリーカバーロックを、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にスライドしてください。

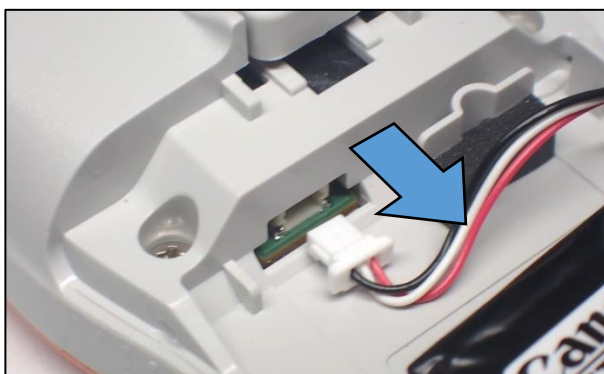


- バッテリーカバーを開いてください。

### 2. バッテリーパックを取り外す

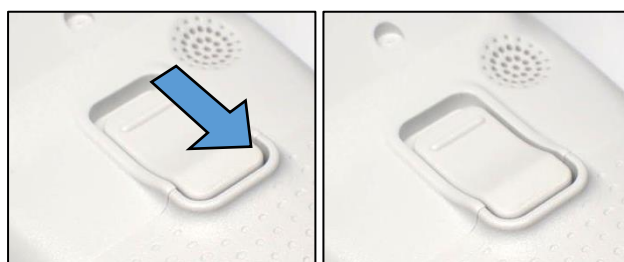
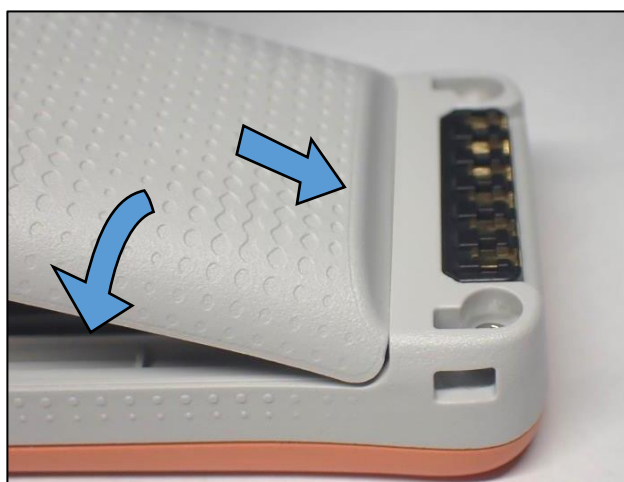


- 左図のようにバッテリーパックはHTに取り付けられています。



- バッテリーパックのコンネクターを矢印の方向に抜いてください。

### 3. バッテリーカバーを取り付ける



- 左図のようにバッテリーカバーをHTに取り付けてください。

- ① バッテリーカバーの突起部をHTのくぼみに差し込むように取り付けてください。

- ② バッテリーカバーの反対側をバッテリーカバーロックの方に倒してください。

- バッテリーカバーをおさえながら、バッテリーカバーロックを、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にスライドしてください。

## 電源のオン/オフ（サスペンド）について

### 重要

- HT の電源のオン/オフ（サスペンド）の切り替えを短い時間で頻繁に行なわないでください。誤動作や故障の原因になることがあります。
- 電源キーを押してからシステムが安定するまでの約 3 秒間は、電源キーの操作は無効になります。
- 電源をオフ（サスペンド）にしても、HT はシャットダウンに切り換わりません。シャットダウンする場合は、必ず「シャットダウン」（p.21）の手順に従って操作してください。

### 電源オン

電源キーを押します。



電源キー

HT の状態	電源キーを押した後の状態
はじめて HT をお使いになる場合	HT の電源がオンになります。 操作可能な状態になるまでに約 30 秒かかります。
シャットダウン状態	
サスペンド状態	サスペンド前の元の表示状態に復帰（レジューム）します。

- はじめてお使いになるときは、電源がオンになった後、「HT の初期設定」（p.23）の手順に従って日付/時刻の設定を行なってください。
- 初期状態では、電源をオンにしてキー操作をしない状態で指定時間経過すると、画面上の表示が消えて、サスペンド状態（CPU を停止した状態）に切り替わります。

### 電源オフ（サスペンド）

- ①. HT が電源オン状態であるときに、電源キーを押します。LED インジケータが●緑色に点灯しはじめます。
- ②. LED インジケータが●緑色から●赤色の点灯に切り替わったら電源キーから指を離します。



電源キー

HT の状態	電源オフ後の状態
電源オン状態	画面上の表示が消えて、サスペンド状態に切り替わります。

サスペンド状態に切り替えておくことで、通常使用時よりも消費電力を低減することができます。なお、サスペンド中はメモリー保持などのために必要最小限度の電力は消費されます。サスペンド状態を長時間続けるためには、バッテリーパックを取り付けた HT をクレードルにセットして充電してください。

### メモ

LED インジケータの点灯色が●赤色に切り替わった後も電源キーを押し続けた場合、電源はオフ（サスペンド）に切り替わりません。



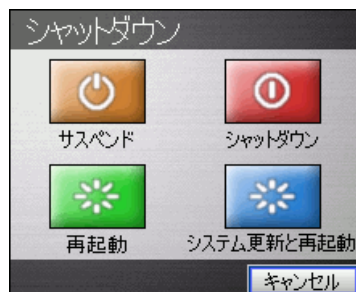
## シャットダウン

電源のシャットダウンは、【シャットダウン画面】で行ないます。



1. ファンクションキー【F2】を押しながら、テンキー【5】を押します。

液晶画面に【シャットダウン画面】が表示されます。



※ 表示された【シャットダウン画面】を閉じる場合は、【C】キーを押してください。



2. テンキー【3】を押します。  
HT がシャットダウン状態になります。

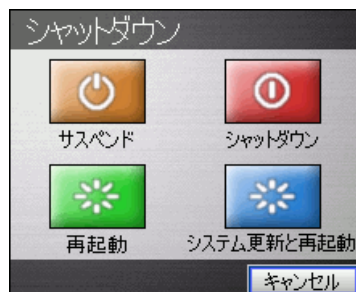
## 再起動

電源の再起動は、【シャットダウン画面】で行ないます。



1. ファンクションキー【F2】を押しながら、テンキー【5】を押します。

液晶画面に【シャットダウン画面】が表示されます。



※ 表示された【シャットダウン画面】を閉じる場合は、【C】キーを押してください。

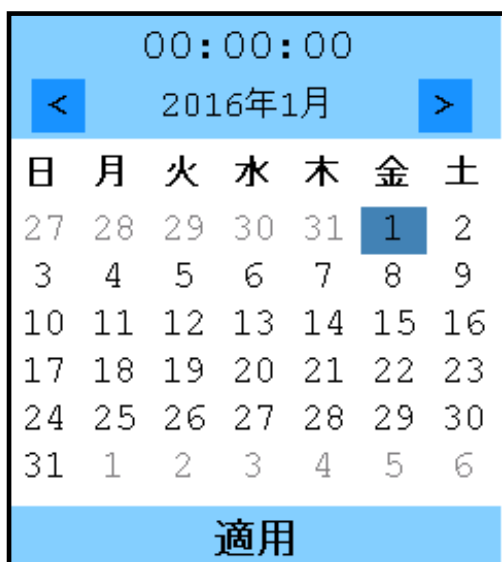


2. テンキー【7】を押します。  
HT が再起動します。

## HT の初期設定

はじめてお使いになるときは、電源キーを押して電源をオンにした後に日付と時刻の設定が必要です。以下の手順に従って、日付と時刻の設定を行なってください。

### 日付と時刻を設定する



< 「日の設定」画面 >

電源キーを押して電源をオン (p.20) にした後、液晶画面上に左の「日の設定」画面が表示されます。この画面で「西暦年」、「月」、「日」を設定することができます。

キー	液晶画面の表示内容
十字キー	上下左右に動かすことで、「日」を選択することができます。
【L】	前月に切り替わります。
【R】	翌月に切り替わります。
【C】	「月の設定」画面に切り替わります。
【SCAN】	「時の設定」画面に切り替わります。
【ENT】	液晶画面に表示されている日付と時刻で確定されます。

ここからは「日」⇒「月」⇒「年」⇒「時間」⇒「分」⇒「秒」の順番で設定する方法を説明します。

1. 十字キーで現在の「日」を選択し、【C】キーを押してください。  
「月の設定」画面に切り替わります。

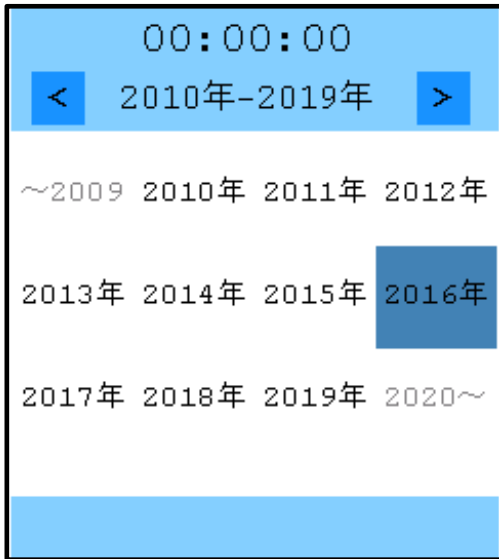
2. 十字キーで現在の「月」を選択し、【C】キーを押してください。  
「年の設定」画面に切り替わります。



< 「月の設定」画面 >

キー	液晶画面の表示内容
十字キー	上下左右に動かすことで、「月」を選択することができます。
【L】	前年に切り替わります。
【R】	翌年に切り替わります。
【C】	「年の設定」画面に進みます。
【ENT】	「月」が確定し、「日の設定」画面に戻ります。

3. 十字キーで現在の「年」を選択し、【ENT】キーを2回押してください。  
「日の設定」画面に戻ります。



<「年の設定」画面>

キー	液晶画面の表示内容
十字キー	上下左右に動かすことで、「年」を選択することができます。
【L】	表示年が10年単位で逆送りされます。(マイナス10年)
【R】	表示年が10年単位で順送りされます。(プラス10年)
【ENT】	「年」が確定し、「月の設定」画面に戻ります。

4. 【SCAN】キーを押してください。



<「日の設定」画面>

「時の設定」画面に切り替わります。

5. 十字キーで現在の「時」を選択し、【ENT】キーを押してください。  
「分の設定」画面に切り替わります。



<「時の設定」画面>

キー	液晶画面の表示内容
十字キー	上下左右に動かすことで、「時」を選択することができます。
【C】	「日の設定」画面に戻ります。
【ENT】	「時」が確定し、「秒の設定」画面に進みます。

6. 十字キーで現在の「分」を選択し、【ENT】キーを押してください。  
「秒の設定」画面に切り替わります。



<「分の設定」画面>

キー	液晶画面の表示内容
十字キー	上下左右に動かすことで、「分」を選択することができます。
【L】	表示範囲が00分～29分に切り替わります。
【R】	表示範囲が30分～59分に切り替わります。
【C】	「月の設定」画面に戻ります。
【ENT】	「分」が確定し、「秒の設定」画面に進みます。

7. 十字キーで現在の「分」を選択し、【ENT】キーを押してください。  
「日の設定」画面に切り替わります。



<「秒の設定」画面>

キー	液晶画面の表示内容
十字キー	上下左右に動かすことで、「秒」を選択することができます。
【L】	表示範囲が00分～29秒に切り替わります。
【R】	表示範囲が30分～59秒に切り替わります。
【C】	「分の設定」画面に戻ります。
【ENT】	「秒」が確定し、「日の設定」画面に進みます。

8. 選択した日付と時刻になっていることを確認し、【ENT】キーを押してください。  
HT に日付と時刻が設定されます。



<「日の設定」画面>

## バッテリーパックについて

HTの主電源となるバッテリーパックについて説明します。

### 残り容量の確認方法

バッテリーパックの残り容量は、以下の方法で確認することができます。



デスクトップ画面右下の領域に、その時点でのバッテリー残量が表示されています。  
数値は 10%ずつ変化します。



## バッテリーパックの交換時期について

- バッテリーパックには寿命がありますので、予備用のバッテリーパックをお買い求めいただいたり、定期的に新しいバッテリーパックを交換・お買い求めいただくことをお勧めします。
- バッテリーパックの寿命は使用環境により変わりますが、目安は使用開始から約1年から1年半、または充電・放電の繰り返し約300回を過ぎた時点です。ただし、実際の使用環境や使用状況によってバッテリーパックの寿命は変わります。
- バッテリーパックをお買い求めの際には、同じ品番のバッテリーパック（BA-50）を指定してください。

## バッテリーパックの特性について

- 冬の屋外などの低温環境では、バッテリーパックの容量が低下するため、運用時間が短くなります。
- バッテリーパックは未使用のものでも時間の経過によって劣化します。1年以上経過したバッテリーパックは容量低下が確認されます。
- バッテリーパックの充電の際には、十分に換気に配慮してください。保管庫やキャビネットなど熱のこもりやすい環境で充電する場合、バッテリーパックの充電容量の低下が早まり、電池寿命が短くなります。換気を行ない熱がこもらないようにしてください。

## リチウムイオンバッテリーパックのリサイクルについて



この製品には、リチウムイオンバッテリーパックを使用しています。リチウムイオンバッテリーパックはリサイクル可能な貴重な資源です。交換後不要になった電池、及び使用済み製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れて下さい。

リチウムイオンバッテリーパックの回収についてのお問い合わせは、以下へお願いします。

◆ 製品、リチウムイオンバッテリーパックをご購入いただいた販売店

◆ 一般財団法人 JBRC

<http://www.jbrc.com/>

※ 使用済みバッテリーパックは、以下の点に注意してください。

- バッテリーパックの外装カバー（被覆・チューブなど）を剥がさないで下さい。
- バッテリーパックを分解しないで下さい。



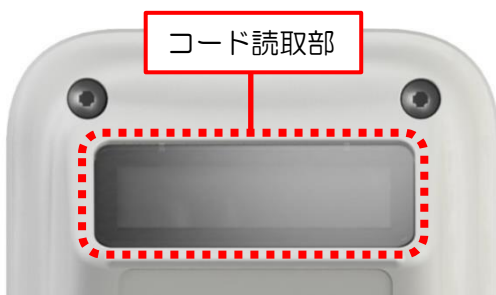
## 4. スキャナーを使用する

スキャナーを使用してコードを読み取る（スキャンする）際は、以下の操作方法にしたがってください。なお、スキャナーを使用する場合は、アプリケーションが必要です。詳しくはシステム管理者にお問い合わせください。

### 警告

- スキャナーから照射されるレーザー光を人体や目に向けて照射しないでください。レーザー光は人体や目に有害となる恐れがあります。

### 注意



- コード読取部に磁石を近づけないでください。機器に異常が発生する原因となります。
- コード読取部が汚れていたり、埃がついていたりする場合は、やわらかい布で軽く汚れをふき取ってください。それでも汚れが落ちない場合は、やわらかい布に市販のエチルアルコールを含ませてふき取ってください。
- スキャンするコードの表面が汚れている場合は、汚れをきれいにふき取ってからスキャンしてください。

## コードの読み取り（スキャン）操作

1. コード読取部を JAN 等の対応のコードに向けてください。
2. 【SCAN】キーを押してください。



## レーザースキャナーのご使用上の注意

- スキャナーから照射されるレーザー光の両端にはスキャンできない領域があります。レーザー光が対象のバーコードのすべてのバーに当たるように照射し、対象のバーコードがレーザー光の横幅の90%以下になる距離まで離してスキャンしてください。
- コードの表面に光沢があったり、ビニールなどでコードが覆われたりして鏡面反射が起きやすくなっている場合はスキャンしにくいことがあります。スキャンの角度を斜めにしたり、少し距離を離してみたりしてください。  
(鏡面反射とは、コード面から反射した光が部分的に極めて強くなることをいいます。)

## 5. USB 通信クレードル CR-16U を使用する

HT とは別売の USB 通信クレードル CR-16U(以下、USB 通信クレードル)を使うことで、HT の充電や PC との USB 通信、USB メモリーを使用することができます。

### USB 通信クレードルの構成品について

USB通信クレードルをご使用になる前に、次の機器と付属品が入っていることを確認してください。

①. USB 通信クレードル CR-16U	1 台
②. AC アダプター	1 個
③. 電源コード	1 本
④. 注意事項（紙）	1 枚
⑤. USB ケーブル	1 本

### 重要

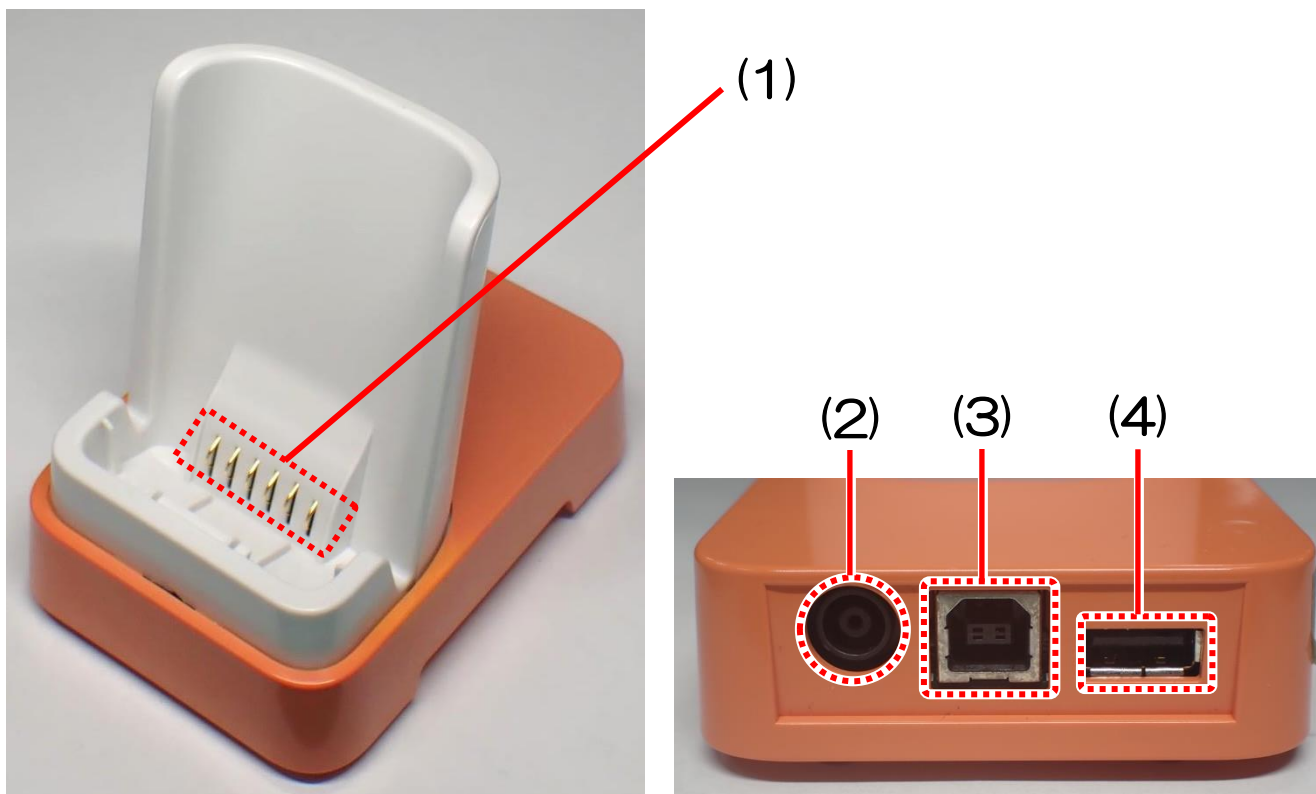
- 電気接点（充電・通信端子）は、HT の着脱によって劣化します。
- USB 通信クレードルは、HT の充電・USB 通信以外の目的で使用しないでください。

### 注意

- USB 通信クレードルから HT を取り外すときは、必ず手で USB 通信クレードルをしっかりと押さえながら、HT を取り外してください。USB 通信クレードルを押さえずに HT を取り外そうとした場合、HT が USB クレードルから外れずに一緒に持ち上がってしまったり、一緒に持ち上がった USB 通信クレードルが落下してしまったりするおそれがあります。
- USB 通信クレードルを移動させる際は、必ず USB 通信クレードルを持ち上げてから移動させてください。

USB 通信クレードルを持ち上げずに接地面に置いたまま水平方向に移動させてしまった場合、底面の固定用ゴム（ゴム足）がはがれてしまう可能性があります。

## 各部の名称と機能



<背面>

1	電気接点 (充電・通信端子)	HT の充電やデータの通信を行なう時に使用します。
2	電源コネクタ	AC アダプターのプラグを接続します。
3	USB 2.0 TypeB コネクタ	USB ケーブルを接続し PC と通信することができます。
4	USB 2.0 TypeA コネクタ	USB メモリーを接続することができます。

## USB 通信クレードルの設置方法

### 重要

- USB 通信クレードルを使用する際は、必ず以下の設置方法で設置してから使用してください。なお、本章での使用説明は、すべて設置された状態を前提に記載しております。

### USB 通信クレードルに AC アダプターを接続する



- ①. AC アダプターに電源コードを接続してください。



- ②. AC アダプターのプラグを USB 通信クレードルの電源コネクタに接続してください。



- ③. 電源コードをコンセントに接続してください。

## HT の充電

### HT を充電する

1. HT を USB 通信クレードルにセットしてください。

- HT と USB 通信クレードルの電気接点の位置を確認してください。



電気接点



- ①. HT の電気接点に USB 通信クレードルの電気接点が接触するように、HT を USB 通信クレードルに差し込んでください。
- ②. HT の背面が USB 通信クレードルの背もたれ部に接するようにセットしてください。  
HT の LED インジケータが点灯し、充電を開始します。

USB 通信クレードルに設置した HT の LED インジケータ		
発光色	充電の状況	
● 赤色	充電中	HT が充電中であることを表しています。
● 緑色	充電完了	HT の充電が完了していることを表しています。

### 重要

- HT を USB 通信クレードルにセットするときは、HT の LED インジケータが点灯するまで、しっかりと USB 通信クレードルのくぼみに HT をはめ込んでください。はめ込みが弱く固定が不十分な場合、充電が開始されず LED インジケータが点灯しません。

## 2. 充電が完了したら HT を USB 通信クレードルから取り外してください。

HT の LED インジケーターが緑色の点灯に切り換わりましたら、充電が完了しています。

HT を USB 通信クレードルから取り外してください。

- ①. 左の図のように HT を手前に少し倒してください。
- ②. HT を上に持ち上げて、USB 通信クレードルから取り外してください。

### 重要

- USB 通信クレードルから HT を取り外すときは、必ず手で USB 通信クレードルをしっかりと押さえながら、HT を取り外してください。



## USB 通信の使用

### USB ケーブルで PC と接続する

1. USB ケーブルを使って USB 通信クレードルと PC を接続してください。



- ①. 左の図のように、USB TypeB コネクタに USB ケーブル(B タイプ) を接続してください。
- ②. USB ケーブルのもう片方のコネクタを PC に接続してください。

2. HT を USB 通信クレードルにセットしてください。

### USB メモリーを接続する

1. USB ケーブルを使って USB 通信クレードルと PC を接続してください。



左の図のように、USB TypeA コネクタに USB メモリーを接続してください。

※USB TypeA コネクタに USB メモリーを接続し、同時に USB TypeB コネクタに USB ケーブルを使用して PC を接続した場合、USB TypeB コネクタの PC 接続が優先されます。USB メモリーを使用する際は、USB TypeB コネクタには何も接続しないでください。

2. HT を USB 通信クレードルにセットしてください。

## 6. 集合充電クレードル MC-16 を使用する

別売の集合充電クレードル MC-16（以下、集合充電クレードル）を使うことで、最大で 4 台の HT 充電を行なうことができます。

### 集合充電クレードルの構成について

集合充電クレードルをご使用になる前に、次の機器と付属品が入っていることを確認してください。

①. 集合充電クレードル MC-16	1 台
②. AC アダプター	1 個
③. 電源コード	1 本
④. 注意事項（紙）	1 枚

### 重要

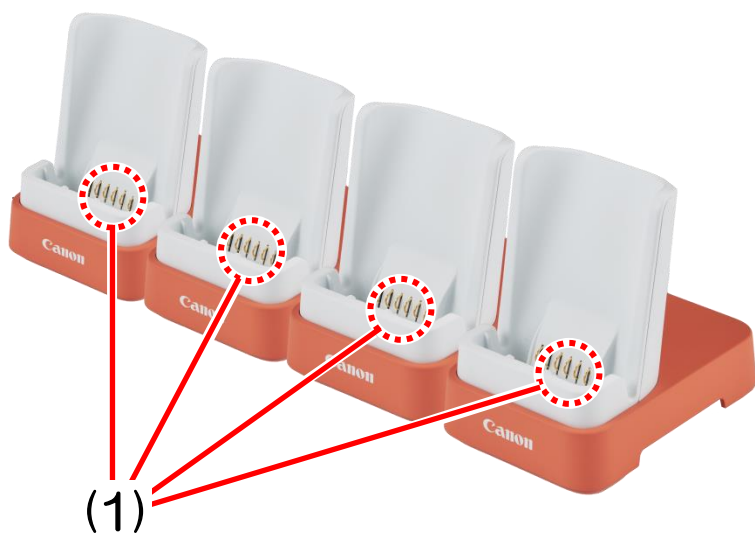
- 電気接点（充電・通信端子）は、HT の着脱によって劣化します。
- 集合充電クレードルは、バッテリーパックの充電以外の目的で使用しないでください。

### 注意

- 集合充電クレードルから HT を取り外すときは、必ず手で集合充電クレードルをしっかりと押さえながら、HT を取り外してください。
- 集合充電クレードルを移動させる際は、必ず集合充電クレードルを持ち上げてから移動させてください。  
集合充電クレードルを持ち上げずに接地面に置いたまま水平方向に移動させてしまった場合、底面の固定用ゴム（ゴム足）がはがれてしまう可能性があります。



## 各部の名称と機能



1	電気接点 (充電・通信端子)	HT の充電を行なう時に使用します。
2	電源コネクター	AC アダプターのプラグを接続します。 ※正面向かって右から 1 番目の置台の背面にあります。

## 集合充電クレードルの設置方法

### 重要

- 集合充電クレードルを使用する際は、必ず以下の設置方法で設置してから使用してください。なお、本章での使用説明は、すべて設置された状態を前提に記載しております。

### 集合充電クレードルに AC アダプターを接続する



- ①. AC アダプターに電源コードを接続してください。



- ②. AC アダプターのプラグを集合充電クレードルの電源コネクタに接続してください。



- ③. 電源コードをコンセントに接続してください。

## HT の充電

### HT を充電する

1. HT を集合充電クレードルにセットしてください。

- HT と集合充電クレードルの電気接点の位置を確認してください。



※ 右側の図は USB 通信クレードルのものですが、集合充電クレードルの「電気接点」は同じ位置にあります。



- ①. HT の電気接点に集合充電クレードルの電気接点が接触するように、HT を集合充電クレードルに差し込んでください。
- ②. HT の裏面の固定用背もたれに、集合充電クレードルの固定用フックを合わせるようにセットしてください。  
HT の LED インジケータが点灯し、充電を開始します。

集合充電クレードルに設置した HT の LED インジケータ		
発光色	充電の状況	
赤色	充電中	HT が充電中であることを表しています。
緑色	充電完了	HT の充電が完了していることを表しています。

### **※重要**

HT を集合充電クレードルにセットするときは、HT の LED インジケータが点灯するまで、しっかりと固定用くぼみに固定用フックをはめ込んでください。はめ込みが弱く固定が不十分な場合、充電が開始されず LED インジケータが点灯しません。

※ 上の図は USB 通信クレードルのものですが、集合充電クレードルの操作も同じです。

## 2. 充電が完了したら HT を集合充電クレードルから取り外してください。



HT の LED インジケーターが緑色の点灯に切り換わりましたら、充電が完了しています。

HT を集合充電クレードルから取り外してください。

- ①. 左の図のように HT を手前に少し倒してください。  
HT の固定を解除することができます。
- ②. HT を上に持ち上げて、集合充電クレードルから取り外してください。

### **重要**

- 集合充電クレードルから HT を取り外すときは、必ず手で集合充電クレードルをしっかりと押さえながら、HT を取り外してください。

※ 上の図は USB 通信クレードルのものですが、集合充電クレードルの操作も同じです。

## 7. 無線通信機能を使用する

### 無線 LAN 通信

HT には無線 LAN 通信機能が搭載されています。無線 LAN 規格に対応したアクセスポイントなどの機器とワイヤレスで通信することが可能です。

#### ● セキュリティについて

無線 LAN 機能を使用するときは暗号化する設定を行なうことをお勧めします。詳しくはお買い上げの販売店または担当営業までお問い合わせください。



IEEE802.11a/n の W52、W53 は電波法により屋外での使用が禁じられています。

### Bluetooth 通信

本機には Bluetooth 機能が搭載されています。Bluetooth 規格に対応したコンピューター等の機器とワイヤレスでの通信が可能です。



- Bluetooth機能は、すべてのBluetooth機器との通信を保証するものではありません。

## 8. こんなときには

### Q HT が起動しない。

- A**
- ①. バッテリーパックは、正しく HT に取り付けられていますか？  
「バッテリーパックの取り付け」(p.15)を確認してください。
  - ②. バッテリーパックの電池残容量は充分ですか？  
電池残容量がある一定の値以下に下がると、HT は起動しません。  
バッテリーパックを充電してください。

### Q 液晶画面に何も表示されない。

- A**
- ①. 液晶画面の上にある LED インジケータの点灯状態をご確認ください。
    - 緑色で点滅していれば、液晶画面がオフモードになっていることを表しています。テンキーを押してください。
    - 青色で点滅していれば、サスペンド状態になっていることを表しています。電源キーを押してください。
    - 点灯・点滅していなければ、シャットダウン状態にあります。電源キーを押してください。
  - ②. バッテリーパックは、正しく本体に取り付けられていますか？
    - 「バッテリーパックの取り付け方」(p.15)を確認してください。
  - ③. HT は、十分に充電されていますか？  
電池残容量がある一定の値以下に下がると、HT は起動しません。  
バッテリーパックを充電してください。

### Q 液晶画面の画面表示が暗い。

- A**
- 液晶画面の画面表示の明るさはシステムの設定によって変更することができます。設定方法につきましては、システム管理者にご相談ください。

### Q HT をクレードルに置いて充電しているときに、HT の LED インジケータが点灯しない。

- A**
- ①. HT が正しくクレードルに取り付けられているか確認してください。  
「HT の充電」(USB 通信クレードルの場合は p.33、集合充電クレードルの場合は p.39)を確認してください。
  - ②. 正しく取り付けられているにもかかわらず LED インジケータが点灯しない場合は、充電中の HT をクレードルから一度取り外し、再度取り付け直してください。

**Q** USB 通信クレードルまたは集合充電クレードルが少し熱を帯びる。

**A** 充電時には機器に熱を帯びることがありますが、異常や故障ではありません。

**Q** 新品のバッテリーパックなのに使用できる時間が短い。

**A** はじめて使用するバッテリーパックは、バッテリーパックの特性により十分に充電しても使用時間が短いことがあります。数回充放電を繰り返すことにより、所定の時間使用できるようになります。

**Q** 長い期間保管していたバッテリーパックが使用できない、また使用できる時間が短い。

**A** バッテリーパックを長い期間保管した後にご使用になる場合には、バッテリーパックの特性によりご使用になれなくなったり、十分に充電しても使用時間が短くなったりすることがありますが、異常や故障ではありません。定期的に充電／放電することをお勧めします。

**Q** 本体が正しく動作しない、または全く動作しない。

**A** ①. バッテリーパックは、正しく本体に取り付けられていますか？  
「バッテリーパックの取り付け」(p.15)を確認してください。

②. HT は、十分に充電されていますか？  
バッテリーパックを充電してください。

**Q** 本体の電源がオフにならない。

**A** ①. アプリケーションが電源オフにできない状態になっている場合があります。システム管理者にご連絡ください。

②. システムに異常が発生している可能性があります。  
強制リセット（ソフトリセット）する場合は下記の操作を行なってください。  
(1) 電源キーを約 5 秒間長押ししてください。LED インジケーターが緑色に点滅しはじめます。  
(2) 緑色に点滅しはじめたら、ここで一度電源キーから手を離してください。  
(3) 手を離してから 5 秒以内にもう一度電源キーを押してください。  
これで強制リセット（ソフトリセット）が行なわれます。  
なお、強制リセットが実行されるまで数秒かかる場合があります。

## 9. 製品仕様

### 基本仕様

製品名称		キヤノン ハンディターミナル プレア
機種名		ST-150
CPU		ARM Coretex-A8 800MHz
OS		Windows Embedded Compact 7
メモリー		256 MB RAM / 256 MB FLASH DISK ※1
表示部	使用素子	2.4型TFTカラーLCD (バックライト付き)
	画面表示ドット数	240×320ドット (QVGA)
	表示文字種	漢字(JIS第1、第2水準)、英数、カナ、記号、外字、特殊文字、NEC/IBM拡張文字フォント
キー入力部 (24キー)		ファンクションキー (F1~F5)、【SCAN】、【L】、【C】、【R】、【ENT】、十字キー、テンキー (0~9)、【.】、【-】、電源キー
スキャナー部	方式	半導体レーザー 波長650nm
	最小分解能	0.127mm
	読取距離	60~130mm (細バー幅0.127mm) ※2 60~900mm (細バー幅1.000mm) ※2
	読取コントラスト	PCS 0.3以上
	対応コード	UPC A/E、EAN/JAN-8、EAN/JAN-13、Code128 (GS1-128)、Code39、Code93、ITF、DTF、CODABAR (NW-7)、MSI、GS1 DataBar
電源	主電源	充電式リチウムイオン電池 バッテリーパックBA-50 (仕様は「消耗品/オプション一覧」の「リチウムイオンバッテリーパックBA-50」(p.46)をご確認ください。)
	運用時間	約12時間 (社) 電子情報技術産業会 (JEITA) HT標準動作モードAで測定
消費電力	使用時	約0.7W (キー入力待ち) ~最大約4W
	保管時	サスペンド時 : 約30mW シャットダウン時 : 約10mW
本体寸法 (突起部除く)		幅 : 55.5mm x 長さ : 157.4mm x 高さ : 35.9mm
質量 (バッテリー含む)		140g

予告なく製品の仕様を変更することがあります。

※1 : 一部管理領域を含みます。

※2 : バーコードの長さや種類により変わります。



## インターフェース

無線LAN	周波数帯域	2412MHz ~ 2472MHz 1ch ~ 13ch 5180MHz ~ 5240MHz W52 5260MHz ~ 5320MHz W53 5500MHz ~ 5700MHz W56	
	対応規格	IEEE802.11a/b/g/n	
	変調方式	IEEE802.11a/g/n	OFDM
		IEEE802.11b	DSSS
	通信レート	IEEE802.11a/g	最大 54Mbps
		IEEE802.11b	最大 11Mbps
IEEE802.11n (2.4GHz 帯)		最大 75Mbps	
IEEE802.11n (5GHz 帯)		最大 150Mbps	
Bluetooth	周波数帯域	2.4GHz帯 (2402MHz ~ 2480MHz)	
	変調方式	FH-SS方式	
	対応規格	Bluetooth 標準規格Ver2.1+EDR	
	出力クラス	Power Class2	
	対応プロファイル	SPP	
	通信レート	最大 3Mbps	
USB	USB2.0 ホスト・クライアント、Full Speed ※ USB通信クレードルCR-16U使用時		
	通信速度	Full Speed 12Mbps	

予告なく製品の仕様を変更することがあります。

## 使用環境

耐環境性	防水・防塵性能	IEC529 IP54準拠
	温度・湿度	動作：-10~50℃、5~90%RH 保存：-20~60℃、5~95%RH（結露なきこと）

予告なく製品の仕様を変更することがあります。

## 10. 消耗品/オプション一覧

### 消耗品

バッテリーパックBA-50	
使用電池	充電式リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	1200mAh
充電方法	USB 通信クレードル CR-16U または 集合充電クレードル MC-16 を使用
充電時間	● CR-16U を使用した場合（常温下でのフル充電）：約4時間※1 ● MC-16 を使用した場合（常温下でのフル充電）：約4時間（1台あたり）※2
寸法	幅：34.5mm x 長さ：53.4mm x 高さ：5.7mm
質量	24g

予告なく製品の仕様を変更することがあります。

※1：充電時間は、USB インターフェースの動作状態、ST-150 の動作状態、充電開始時の残量、周囲環境（温度）等により変わります。

※2：充電時間は、ST-150 の動作状態、充電開始時の残量、周囲環境（温度）等により変わります。

## オプション品

### 充電・通信関連品

USB通信クレードルCR-16U		
電源部	DC16V 1.6A	
充電可能温度	0℃~40℃（推奨は10℃~30℃）	
充電時間	常温下でのフル充電：約4時間（ST-150装着時の充電） 充電時間は、USB インターフェースの動作状態、ST-150の動作状態、充電開始時の残量、周囲環境（温度）等により変わります。	
USBインターフェース (Type A)	規格	USB2.0 Full Speed
	端子	VBUS, USB D+, USB D-, GND
USBインターフェース (Type B)	規格	USB2.0 Full Speed
	端子	VBUS, USB D+, USB D-, GND
寸法	幅：76mm × 奥行：105mm × 高さ：100.5mm	
質量	338g	
USB通信クレードル用ACアダプター		
定格入力容量	AC100-240V 50/60Hz 0.57A-0.32A	
定格出力	DC16V 1.6A	
寸法	幅：58mm × 長さ：118mm × 高さ：約33mm * 電源コード部除く	
質量	250g（電源コード含む）	
電源コード長	1m	

予告なく製品の仕様を変更することがあります。

集合充電クレードルMC-16	
電源	100V~240V 50/60Hz
定格入力容量	DC16V 1.6A
定格出力	ST-150 接続側 : DC5.4V 0.8A × 4
充電可能温度	0℃~40℃（推奨は10℃~30℃）
充電時間	常温下でのフル充電：約4時間（1台あたり） 充電時間は、USB インターフェースの動作状態、ST-150の動作状態、充電開始時の残量、周囲環境（温度）等により変わります。
寸法	幅：304mm × 奥行：105mm × 高さ：100.5mm
質量	880 g
集合充電クレードル用ACアダプター	
定格入力容量	100-240V 50/60Hz 0.57A-0.32A
定格出力	DC16V 1.6A
寸法	幅：58mm × 長さ：118mm × 高さ：33mm *電源コード部除く
質量	250 g（電源コード含む）
電源コード長	1m

予告なく製品の仕様を変更することがあります。

# Canon

キヤノン電子株式会社

お問い合わせ先

キヤノンマーケティングジャパン株式会社      [canon.jp/st-150](https://canon.jp/st-150)



製品はリチウムイオン電池を使用しています。  
リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください